

## 第十一次金ケ崎町総合計画の中間評価について（概要）

### 1 はじめに

令和3年3月に策定した第十一次金ケ崎町総合計画（現行総合計画）の基本計画の期間が、令和7年度で終了します。次期総合計画の策定に向けて、庁内組織の金ケ崎町未来創生推進本部において検討を始めているところです。

次期総合計画の策定にあたっては、下記3点に留意して検討を進めていきます。

- (1) 現行総合計画の中間評価
- (2) まちづくりアンケート結果
- (3) パブリックコメントや町民懇談会などの町民の声

次期総合計画（案）については、金ケ崎町総合計画審議会において調査審議していただいたうえで、町議会に提案する予定となっております。なお、次期総合計画（案）の検討段階においても、金ケ崎町総合計画審議会の委員の皆様からご意見をいただきたいと考えています。

今回は、現行総合計画の中間評価に対して、委員の皆様からご意見をいただきます。

### 2 第十一次金ケ崎町総合計画の中間評価

- (1) 基本構想の中間評価

政策ごとの目標指標 14 項目のうち、「総生産額」のみが「順調」、その他の 13 項目が「遅れている」となっている。継続的に実績値をモニタリングしていくとともに、次期総合計画の目標指標及び目標値の見直しを検討する。

政策ごとの目標指標 14 項目のうち、町民の主観（まちづくりアンケート）を根拠にするものが 11 項目、客観的な統計数値を根拠にするものが 3 項目となっている。基本構想に対する目標指標の設定は、現行総合計画で初めて導入したことから、目標値設定の考え方を検証し、次期総合計画に向けた目標指標及び目標値の見直しも必要と考える。また、目標指標に対する各種施策の事務事業の影響度は明確に示せないことから、継続的な実績値のモニタリングを進め、その変化にいち早く気付く体制を整備していく。

・資料 No. 2-1 第十一次総合計画（R3～R12）基本構想目標指標管理シート

- (2) 基本計画の中間評価

各施策に係る目標指標 133 項目に対する中間評価は、第十次金ケ崎町総合発展計画の評価（前回評価）と同様、A（順調）とD（遅れている）に評価が偏る傾向がある。継続的な実績値のモニタリングを進めるとともに、社会環境の変化、町民のニーズ及び民間の動向を注

## 視しながら、より効果的な事業展開となるよう進めていく。

各施策に係る目標指標 133 項目に対する中間評価は、別表のとおり。

現時点では、前回評価時に比べて、全体的にA（順調）の項目数が増加している。各政策分野に注目すると、特に「Ⅰ生活環境」と「Ⅳ教育文化」にA（順調）の項目数が増加する一方で、「Ⅱ健康福祉」及び「政策を推進する視点」ではA（順調）の項目数が減少している。

なお、各施策に位置付く主な事業 163 のうち、158 は順調に継続実施している。一方、民間の動向やニーズを踏まえ、中止または中断している事業が5つある。

社会環境の変化、町民のニーズ及び民間の動向も大きく影響していることから、行政のみで各施策の課題に効果的に対応することが難しくなってきている。

### 別表

#### ○第十一次金ヶ崎町総合計画目標指標中間評価

	A	B	C	D	—	計
Ⅰ生活環境	17	1	3	15	0	36
Ⅱ健康福祉	17	2	0	12	0	31
Ⅲ産業	15	1	0	14	0	30
Ⅳ教育文化	11	1	0	5	0	17
Ⅴ推進視点	6	1	1	11	0	19
計	66	6	4	57	0	133

#### ○第十次金ヶ崎町総合発展計画目標指標達成状況（前回評価）

	A	B	C	D	—	計
Ⅰ生活環境	8	2	3	16	0	29
Ⅱ健康福祉	21	1	6	10	0	38
Ⅲ産業	10	2	3	10	0	25
Ⅳ教育文化	5	0	4	16	2	27
Ⅴ推進視点	8	2	0	7	0	17
計	52	7	16	59	2	136

- ・資料 No. 2-2 第十一次総合計画の中間評価について
- ・資料 No. 2-3 第十一次総合計画 主な事業進捗状況
- ・資料 No. 2-4 第十一次総合計画（R3～R7）基本計画目標指標管理シート

## 3 審議会の意見

## 【評価基準についての補足説明】

### 1 指標の評価方法

達成率（％）＝実績変動量÷目標変動量×100

#### 【例】

- ① 現状値 60 を 70 にする目標設定で、実績値が 68 の場合  
→  $(68-60) \div (70-60) \times 100=80\%$
- ② 現状値 120 を 90 にする目標設定で、実績値が 130 の場合  
→  $(130-120) \div (90-120) \times 100=\triangle 33.3\%$

※ 実績値が現状値よりも後退していると、達成率がマイナスとなることから「後退」と表記しています。

### 2 指標の達成状況の整理（中間評価：R5 年度実績値）

中間評価		評価基準
A 順調	◎	達成率 60%以上（3 年目 / 5 か年）
B 概ね順調	○	達成率 48%以上（60%×0.8）
C やや遅れている	△	達成率 36%以上（60%×0.6）
D 遅れている	×	達成率 36%未満及び「後退」